

映画「綿とちょうさ〜僕が好きだったもの〜」製作発表会・取材のお願い

本映画は、香川県で毎年実施されている「さぬき映画祭」の第9回シナリオコンクールで大賞を受賞した同名作品『綿（わた）とちょうさ』を映画化いたします。また、来春（令和9年）開催の「さぬき映画祭」での上映が決定しております。7月11日から香川県内各所で撮影を進めてまいりましたが、このたび、主要キャストが一堂に会する8月22日（土）に、製作発表会を開催することとなりました。

ご連絡の上、ぜひご取材いただき、広くご紹介くださいますようお願い申し上げます。

※映画の概要につきましては、添付のチラシをご覧ください。

製作発表会概要

日時	令和8年8月22日（土）16時30分から17時30分
場所	IKODE瓦町（瓦町FLAG 8階）ギャラリー西（香川県高松市常磐町1-3-1）
内容	・製作発表 ・監督、原作者挨拶 ・キャスト紹介 ・スタッフ紹介 ・プロデューサー挨拶 など

本映画の推しポイント

（その1）香川を愛するクリエイターたちがつくる、香川発の映画

監督をはじめ、撮影、演出、編集など、映画製作に携わるスタッフは、香川在住のクリエイターが中心です。香川を愛し、地域を知り尽くしたスタッフが、香川の魅力を作品に込めて映画をつくっています。

（その2）「綿」と「ちょうさ」を通して描く、香川ならではの物語

映画の背景となるテーマは、香川県の特産品であった「さぬき三白」のひとつである「綿（わた）」と、香川県が誇る金糸刺繍の綿布団（わたふとん）が特徴の太鼓台のお祭り「ちょうさ」です。県内外での上映を通じて、香川県の文化的な魅力を広くPRしたいと考えています。

一方で、本作品は単なるPR映画ではありません。

地方の過疎化や高齢化、地域のお祭りの将来など、香川で暮らすという選択を人生の中でどう捉えるのかをテーマに、挫折した主人公がふるさと香川へ戻り、家族や友人と過ごす中で「僕が好きだったもの」に触れ、再び前を向いて歩き始める姿を描いたヒューマンドラマです。

（その3）実力派キャストが出演

キャストには、主役に香川にゆかりがあり、現在東京で俳優として活躍している「Romi（ロミ）」を迎えます。準主役に地元香川のFMパーソナリティとしても活躍している俳優「加藤 直（かとう なお）」 坂出市出身で数々の映画・ドラマに出演する名俳優「石垣 登（いしがき のぼる）」 第48回日本アカデミー賞最優秀作品賞を受賞した『侍タイムスリッパー』でヒロイン役を演じた「沙倉 ゆうの」をはじめ、作品を彩る俳優陣とともに、見ごたえのある作品をつくり上げていく予定です。

取材等の連絡先

監督	釜次 智久（かまつぐ ともひさ）	携帯：090-3782-3955
プロデューサー	山下 剛史（やました つよし）	携帯：090-8694-5338